

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年	
330016	X-21-B-3-330016	2	前期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	専門	選択必修	1年	
授業科目				担当教員	【3年次生以上】国際学部国際文化学科	専門	選択必修	2年
日米関係論				中村 起一郎	【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	必修	2年
					【1-3年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×
					【1-3年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×
					【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×	

授業目的

20世紀において長く「超大国」として君臨したアメリカは、かつてのような圧倒的な影響力は失われつつあるものの、依然として強大な軍事力と経済力を有し、独特の外交理念をふりかざす大国であることに変わりはない。世界の主要国は、アメリカとどのように付きあうかにいつも頭を悩ませてきた。もちろん日本もその国の一つだ。時に積極的に、時に苦渋の思いでいくつもの選択を重ねた結果として、現在の日米関係が作られている。この講義では、現在の日本外交の基軸となっている日米の同盟関係がどのように形成され、機能してきたか、主に政府レベルの政策決定過程に焦点を当てながら分析する。高校時代の日本史、世界史、大学で学んだ日本政治や国際政治などの知識を利用しながら、日米関係が日本と世界にとってどのような意味を持っているのかを考えたい。

各回の授業内容

<p>第1回 【授】 イントロダクション トランプ政権と日本外交 【前・後】 予習復習に4時間充当（以下同様）。授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。</p> <p>第2回 【授】 冷戦と日米安保（1） サンフランシスコ講和条約と日米安保条約 【前・後】 前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。</p> <p>第3回 【授】 冷戦と日米安保（2） 安保改定から沖縄返還へ 【前・後】 前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。</p> <p>第4回 【授】 冷戦と日米安保（3） 新冷戦と「大国」日本の役割 【前・後】 前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。</p> <p>第5回 【授】 冷戦終結のインパクト（1） 湾岸戦争からPKOへ 【前・後】 前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。</p> <p>第6回 【授】 冷戦終結のインパクト（2） 北東アジア情勢の緊張と日米安保 【前・後】 前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。</p> <p>第7回 【授】 21世紀の米国外交（1） 9・11のインパクト 【前・後】 前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。</p> <p>第8回 【授】 21世紀の米国外交（2） 世界の警察官から選択的関与へ 【前・後】 前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。</p>	<p>第9回 【授】 21世紀の米国外交（3） トランプ外交の特殊性と普遍性 【前・後】 前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。</p> <p>第10回 【授】 東アジア地域秩序と日米同盟（1） 北朝鮮非核化をめぐる 【前・後】 前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。</p> <p>第11回 【授】 東アジア地域秩序と日米同盟（2） 米中対立の構図 【前・後】 前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。</p> <p>第12回 【授】 日本外交の内在的課題（1） 憲法と安全保障 【前・後】 前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。</p> <p>第13回 【授】 日本外交の内在的課題（2） 沖縄基地問題 【前・後】 前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。</p> <p>第14回 【授】 日本外交の内在的課題（3） 歴史の政治化 【前・後】 前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。</p> <p>第15回 【授】 課題またはレポート ※テーマ、字数、提出時期など詳細は追って連絡する 【前・後】 講義ノートを見直しておくとともに、適宜必要な資料・文献のリサーチを行うこと。</p> <p>第16回 【授】 試験 【前・後】 講義ノートをもとに試験の復習</p>
--	---

成績評価方法

定期試験の評価を基本とする。課題・レポートの扱いについては、追って指示する。プラスαとして、授業内レポート（コメント）や授業への参加などの要素を加味する場合もある。授業内レポート（コメント）の一部は、授業時にクラス全体で共有する。

教科書・参考書

教科書は特に指定しない。参考文献は講義中に適宜紹介するが、日本外交の流れを追うのに有用な概説書として、次のものを挙げておく。
五百旗頭真・編『第3版補訂版 戦後日本外交史』有斐閣、2014年
井上寿一『新版 日本外交史講義』岩波書店、2014年
五百旗頭真・編『日米関係史』有斐閣、2008年
細谷千博『日本外交の軌跡』NHKブックス、1993年

受講に当たっての留意事項

日本政治や国際政治に関する講義を受講済または受講中であることが望ましい。私語は厳禁。質問は授業中でも授業の前後でも歓迎します。

実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性	アクティブラーニング（ディスカッション、グループワーク、発表等）の実施
×		×

学習到達目標

日本と北東アジアの安定と発展のために、日米同盟はどのように役立っている／いないのか、多面的に考えられるようにする。

JABEE

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習